

FUKUUCHI

Public
Relations

No.181
January

広報ふくち

父の思いを胸に

全力

激

動の1年
を乗り越え
迎えた新年。
誰もが新たな
年に希望を灯す
今、福智町のアス
リートたちは何を想い
何を追い求めるのか。今回
の特集では、新たな夢に向っ
て走り始めた「ミライ☆チャンピ
オン」3人を密着取材。これまでの
苦難、そしてこれからの夢に迫ります。

前進。

KEEP GOING! [特集]

新たな夢追う福智の
ミライ☆チャンピオン

Towards the New Future
2021

2021

1

History of Riko Morita

念願の夢をかなえ、競艇選手として新たな目標への一歩を踏み出した梨湖選手。ここで、彼女の「人生のターニングポイント」を振り返ります。

1999年11月30日

今垣光太郎選手(石川)が6号艇でSGを制覇した年に生まれた梨湖選手。競艇選手を目指し、5歳で「空友会」へ入門。



「競艇選手に必要な体力と精神力を養うため空手を始める。」

2014年

空手家としても才能を開花させ、黒帯二段の腕前を持つ梨湖選手。スカウトされた福岡工業大学付属城東高校へ進学。



「高3最後の夏は、強豪選手を下し九州大会へ出場した。」

2019年

4度目の挑戦で志願者798人の中から難関を突破し「ボートレーサー養成所」に合格。入学者52人のうち女性は20人。



「現役ボートレーサーの父の指導を受け、入学者に合格した。」

2020年11月8日

養成所を卒業し、デビューを果たした梨湖選手。プロ初戦は、芦屋競艇場(芦屋町)で開催された「BTS宮崎オープン6周年」。



「好スタートが印象に残る初戦。結果は2位だった。」

to be continued...

まさに「地獄の日々」 耐え抜きつかなかった夢

「ストレスで体重が5キロ減るくらい養成所は地獄でした」と過酷な日々を思い起こす梨湖選手。「ボートレーサー養成所」は、完全寮制で携帯電話の持ち込みは禁止。究極の閉鎖空間で競艇の基本をたたき込まれます。



↑入学時52人いた学生の内、卒業してプロデビューを成し遂げたのはたったの29人。

に気を張っていた」という梨湖選手。「やっとつかなかったチャンス。自分からは絶対に辞めない」と決心し、必死に食らいついたら振り返ります。苦難の日々を1年間耐え抜いた森田選手は、無事にプロテストに合格し、養成所を卒業。そして昨年11月、念願のプロデビューを果たしたのです。

日本最高峰へ向けて 全力のフルスロットル

ボートレーサーとしての日々を「分からないことが、分からない」と例える梨湖選手。養成所で艇の操作やモーター調整、ペラたたきなどレースに必要な技術を学んだものの「本番のレースはまるで別物。養成所とは異なるしんどさがある」と語ります。若手レーサーには、レース以外にも先輩レーサーの補助などの仕事があり、「他の仕事をしながら、ばたばたと自分のレースに向かうことは日常茶飯事」と新人ならではの大変さも実感している梨湖選手。

本番のレースも、一番不利で命の危険も少ない6コースから徐々に実践を学んでいると言います。父親がかつ先輩レーサーの昭彦さんは「ターンはまだまだ。レースも初心者やけど、スタート勘は光るものがある」と梨湖選手の素質を評価したうえで、「レース初心者新人選手は負けて当然。梨湖には、価値ある6着を重ねて、まずは初勝利を獲ってほしい」と期待を寄せます。梨湖選手も「スタートは見えている。自分を信じて決めていけるようになりたい。課題山積のターンは、練習を積んで克服していきたい」と自身を冷静に分析しています。

夢をかなえた今、「まずは父を超え、いづれは女性選手でも群を抜く強さを発揮する大山千広選手(飯塚市出身)のようなスタート勘と、男子選手にも負けないターン力に身に着けて『G1』や『SG』に出場したい」と新たな目標を掲げる梨湖選手。家族や友人、競艇ファンの熱い声援を後押しに、一走一走のレースを戦い抜き、全力前進、魂のフルスロットルで夢の舞台を目指します――

徳山競艇場(山口県)で1月25日から5日間開催される「中日スポーツ杯」に出場予定の梨湖選手。レースに向け、昭彦さんの指導で「ペラたたき」の特訓→

森田梨湖

「福岡支部所属ボートレーサー」



若松競艇場(北九州市)で12月12日から開催されたプロとして2大会目の「ギラヴァンツ北九州杯」。第2マークを「モンキーターン」で旋回する森田梨湖選手。

出来ると信じて!!

● 森田梨湖(もりた・りこ)

平成11年11月30日、福岡市赤池生まれの21歳。市場小・赤池中学校卒業後、福岡工業大学付属城東高等学校へ進学。その後、ボートレーサー養成所に入校し、21歳でプロデビュー。身長154センチ、体重46キロ、B2級に所属。登録番号は【5164】



父の背中受け継いで 目指した競艇の世界

日本競艇界最高峰の舞台「G1」への出場経験を持ち、福岡支部長も務めた現役ボートレーサーの父・森田昭彦選手(あきひこ)の娘として生まれた森田梨湖選手。父の活躍を幼い頃から見続けていた梨湖選手は、「気付いたころには、レーサーになりたいと感じていた」と物心つく前から将来の



↑平成8年にプロデビューした父・森田昭彦選手。レーサー歴25年の大ベテラン。平成14年ごろにはA級選手として「G1」にも出場。

目標にしていたと語ります。ボートレーサーに必要な体力を鍛えるため、5歳で「空友会」に入門して空手を始め、高校では空手の強豪・福岡工業大学付属城東高校へ進学。より厳しい鍛錬で体力養成と減量に励みました。高3の冬、満を持して競艇選手の登竜門「ボートレーサー養成所」の試験に挑戦しますが、競争倍率20倍の壁は高く、無念の不合格。その後もレーサーになる志は揺るがず、アルパイトの合間に体幹トレーニングを積みながら挑戦を重ねます。そして、4回目のチャレンジで志願者796人から合格をつかみ、難関を見事突破。国内唯一の競艇選手育成機関「ボートレーサー養成所」(柳川市)の門をくぐりました。

寺田龍覇

「セレスボクシングスポーツジム所属プロボクサー」

兄弟と走り続けた日々
葛藤と決断が襲う

3人兄弟の次男として生まれ、3歳の時に父のすすめで、兄と妹と一緒に陸上競技を始めた寺田龍覇さん。当時は訳も分からず「父から走ってこい」と言われ、ただひたすらに走っていた」と振り返ります。「父はとても厳しい人ですが、試合に勝つとほめてくれる。でも負けると怖い」と寺田さん。日々走り続ける毎日でした。

小1で「陸上クラブ田川RC」に通い始め、本格的に陸上競技にうちこみます。父の指導も熱が入り、1日30km走ることも。着実に力はつき、数々の大会で優勝を重ね、陸上選手としての実力を伸ばしていきました。中学に上がる前、テレビで当時世界チャンピオンを3度



↑鹿児島県の年代別マラソン大会で3兄弟ともに金メダルを獲得

防衛したプロボクサーの内藤大助選手を見て「謙虚な人で優しい感じなのに、試合になるとたちまち強くてかっこいい姿になる」と心打たれた寺田さん。それからボクシングへの夢も抱くようになります。陸上競技で結果を出している自分、そしてこれまで厳しく指導してくれた父の思い、しかしボクシングをやりたい気持ちへの葛藤。寺田さんはプロボクサーの夢を心の内に秘めたまま、陸上競技を続けます。中学・高校と陸上競技と向き合い、力をつけていきました。

陸上二筋だった男が
ボクシングに転進

大学では箱根駅伝の予選に出場できる流通経済大学（千葉県）に進学。箱根駅伝出場を目指します。しかし、試合で思ったタイムが出ず、苦悩する毎日。「やりたくない、これ以上やっても時間がもったいない」という気持ちが出てきたと言います。初めて感じた陸上競技での限界。そこで、もう一つの大きな夢であったボクシングの道へ踏み出そうと決断します。「これまで陸上競技で応援してくれた家族、特に父に打ち明けるには少し時間がかかった」と話す寺田さん。「最初は反対されました。それでも



→陸上競技時代から欠かさないランニング。海沿いをほぼ毎日20km以上走り込む

ボクシングへの気持ちは変わらないことを伝えると、最後は応援すると言ってもらえました」と笑みを浮かべました。

大学2年の冬、駅伝部を退部し、ボクシングへと転進。同じ左利きで戦い方が好きな岩佐亮佑選手が所属するセレスボクシングスポーツジムの門をたたきます。そして血を吐くような練習を耐え、今年10月、プロテストに合格。プロボクサーになる夢を叶えました。

苦しい時こそ
笑顔!!

夢は日本人初の
ライト級世界チャンプ

「これで、名だたるプロボクサーたちと同じ舞台に立てます」と武者震いする寺田さん。「練習も大事ですが、最も大切なのは体重管理や食事などの私生活」とプロとしての意識も高く持ち、今か今かとデビュー戦の日に向けて日々鍛錬を続けています。プロとしてのスタートラインに立った寺田さんの新たな夢は日本人初のライト級



→後援・協賛募集中。連絡先 090-6173-1814 福永

世界チャンピオン。「ライト級は挑戦者が多く激戦ですが、その中で一番になることが家族への恩返し」と力を込めます。そのためにまずはデビュー戦勝利を誓う寺田さん。これから世界チャンピオンを目指す挑戦の開始を告げるゴングが心の中で鳴り響いています。

●寺田 龍覇（てらだ・りゅうは）
平成9年4月28日、福智町神崎生まれの23歳。金田小・中学校卒業後、希望が丘高校へ進学。流通経済大学（千葉県）2年の冬に陸上競技からボクシングへと転向。2020年10月13日にプロテストに合格。身長173センチ、体重68キロ。階級はライト級で左ボクサー。得意技は、右フック。好きな選手はワシル・ロマチェンコ選手。

もうひとつの夢

陸上競技からボクシングへと全く違う勝負の世界へ挑戦する寺田龍覇さん。プロボクサーとなった今、彼にはさまざまな葛藤と大きな決断がありました。交差する2つの思いが1つとなり、寺田さんはボクシング世界チャンピオンへと走り出しました。

History of Ryuha Terada

ここでは寺田龍覇さんが今まで走り続けてきた人生のステップを紹介。陸上競技から始まり、プロボクサーへの道のりを振り返ります。

1997年4月28日

第6回世界陸上競技大会で鈴木博美選手がマラソンで金をとった年に生まれた寺田さん。3歳の時に、陸上競技を始める。



←父の指導で、3兄弟一緒に練習をする龍覇さん（一番左）

2009年

小1から「陸上クラブ田川RC」に通い、陸上競技に奮闘。小6時に内藤選手を見て、少しずつボクシングの夢が芽生え始める。



←県外の大会も多く参加し、小3時にハーフマラソンで優勝

2015年

安川電機を実業団日本一に導いた監督の指導を受けようと、駅伝部が創部わずか3年目の希望が丘高校（中間市）に進学。



←高3時に40校以上が参加する県駅伝で、6区・区間4位

2020年

大学2年の10月、陸上競技に限界を感じ、もう一つの夢「ボクシング」を始める。令和2年10月13日にプロテストに合格。およそ2年半で、念願のプロボクサーとなる。



←スパーリングを日々技術を磨き、デビュー戦の勝利を誓う

to be continued...

History of Tsubasa Tabuki

田吹光翼さんが今まで歩んできた人生のターニングポイントをピックアップ。輝かしい戦績と一緒にこれまでの軌跡を振り返ります。

2002年4月29日

アジア初のFIFAワールドカップが日韓共同で開催された年に生まれた田吹さん。小1から「金田少年サッカークラブ」に入会。



「日本代表のユニフォーム姿の田吹さん。感と弟、本気でサッカーをやる。」

2015年

中学進学後は、県内ではその名を知られる「川崎FC」に入団。アビスパ福岡公式スクールへも通いながら技術を磨いた。



「堺整形外科杯U15サッカー選手権では福岡県大会へ出場。」

2018年

サッカーの強豪校「九州国際大学付属高等学校」に進学。史上最弱と言われながらも「最強」になるための練習に明け暮れた。



「高1の選手だけが出場する球技大会の対東福岡戦。」

2020年11月15日

高2の冬にレギュラー入りし、新人戦では飯塚高校を破って念願の優勝。最後の全国高校サッカー選手権では、東福岡高校に「1-0」で惜敗し、準優勝に輝く。



「最後の公式戦を勝利で飾り、監督に史上最弱を撤回された。」

to be continued...

弱いからこそ謙虚に 夢舞台への切符争う

県内外の精鋭90人ほどが在籍する「九国大付属サッカー部」。その上位30人で構成される「トップチーム」入りを目指し、壮絶な日々が始まります。

「朝6時に家を出て自主練習、授業後に部活、帰宅は夜22時ごろ。休みはなく遊ぶ時間はありません」と田吹さん。「夢の実現には必要な道」と練習に励みますが、思う結果が出せない日々が続きました。監督やコーチからは「この世代が史上最弱。だから謙虚にひたむきにサッカーに向き合え」と教えられた部員たち。現状に



↑ 県高等学校サッカー新人大会でゴールした喜びを仲間と分かち合う。

満足せず、技術を磨き続けました。その努力が実を結び、田吹さんは高2で念願のトップチーム入りを果たし、冬にはレギュラーを獲得。九国大付属の代表で出場した「新人戦」では田吹さんの決勝ゴールで優勝を飾りました。勢いをそのままに、チームの最終目標「全国高校サッカー選手権大会出場」をかけた福岡大会で順調に決勝へと駒を進めます。

そして迎えた決勝戦、相手は九国大付属最大のライバル、東福岡高校。舞台は「アビスパ福岡」の本拠地で田吹さんが長年憧れた舞台「ベスト電器スタジアム」。試合は序盤から激しい攻防が続きます。田吹さんは持ち前のスピードあるドリブルで縦の突破を試みますが、東福岡の強力な守備に阻まれます。お互い一点も譲らない攻防が続く、試合時間は残り1分。一瞬の隙を狙った東福岡のシュートが九国大付属のゴールネットを揺らし、無常にも試合終了のホイッスルが場内に鳴り響いたのです。

謙虚にひたむきに
夢を掴みとります!!

「再び、あのピッチへ」 新たな夢へキックオフ

「全国へ行けなかったのは残念ですが、プロへの道はまだまだ序盤。大学でもサッカーを極めていきたい」と悔しさをバネに前を向く田吹さん。2・3年時の担任兼サッカー部の梶川コーチも「田吹だけの武器を磨いてほしい」とエールを送ります。「プロとしてあのピッチに帰ってきます」と新たな決意を固めた田吹さん。夢という光る翼を胸に、プロサッカー選手を目指して次のステージへと羽ばたきます――

決勝戦で「ベスト電器スタジアム」のピッチに立つ九国大付属。背番号11が田吹さん。



田吹光

翼

最弱から最強へ
日本サッカー界の最高峰Jリーグを目指し、日々サッカーと向き合う田吹光翼さん。毎年冬を熱くする「全国高校サッカー選手権大会」の福岡県予選大会で準優勝を成し遂げました。高校3年最後の冬に至る軌跡、そして、田吹さんの眼前に広がる未来に迫ります。

「九州国際大学付属高等学校サッカー部3年」

マイナーだった「サッカー」を一躍人気スポーツにした漫画「キャプテン翼」の主人公・大空翼。その名に一番輝いてほしいという願いを込めた「光」を冠して「光翼」と名付けられた田吹さん。自身もサッカーに打ち込んだ父・紀文さんのすすめで参加した「金田少年サッカークラブ」の練習がサッカーとの出会いでした。「最初は気が進まなかったけど、初めてボールを蹴って、追った瞬間、一気に魅了された」と当時を振り返ります。

小4の頃には、小6の選手と一緒に試合に出場するなど徐々に頭角を現し、次第に田吹さんは、プロサッカー選手を目指すようになります。中学では「もっと高いレベルでサッカーがしたい」と筑豊の名門「川崎FC（川崎町）に入団。仲間と切磋琢磨しながら3年間、技術を磨きます。その実力を認められ、「福岡4強」と例えられる強豪校「九州国際大学付属高等学校」へ特待生で進学。さらなる高みを目指す挑戦が幕を開けたのです。



↑ 前列左から3番目が田吹さん（背番号14）。小4では「九州ジュニアサッカー（U-12）大会」でクラブ念願の県大会初出場を成し遂げた。

「第99回全国高校サッカー選手権大会」福岡大会の準決勝。筑陽学園との一戦はPK戦で勝利。



◎ 田吹光翼（たぶき・つばさ）
平成14年4月29日、福岡県金田生まれの18歳。金田小・中学校卒業後、九州国際大学付属高等学校へ進学。高2年の冬からFWでレギュラーとして活躍。身長170センチ、体重68キロ。フィジカルトレーニングで鍛えた下半身の筋力を活かしたスピードあるドリブルによる縦の突破からのクロスとパンチ力あるシュートが持ち味。

第35回九州クラブユース(U-15)サッカー選手権大会が11月21日に佐賀県健康運動センターで開催され、「川崎FC」に通う金田中・方城の生徒4人が出場しました。九州大会への出場がかった福岡県大会では、「響サッカースクール」(北九州市)を下し、出場チーム35から見事ベスト5に輝き、九州大会への出場権を獲得。選手たちは「中



↑「それぞれの進路先でもサッカーに打ち込む」と語った4人。

サッカー蹴球

川崎FCが九州大会へ進出

フクスポ

令和3年1月1日
発行：福智町
【編集】広報ふくち

陸上
今季唯一の大会で優勝
短距離
百メートル走

上競技大会「博多の森カーニバル」が10月11日に福岡市で行われ、百メートルに出場した井上憲治さん(金田)が優勝の栄冠を手に入れました。向かい風などで自身の大会記録には及ばなかったものの、13秒96でゴール。井上さんは「結果には満足してないが、走る

学最後の大きな大会で九州大会に出場できてよかった。九州大会では一回戦で敗退したが、この大会で学んだことを高校サッカーでも生かしたい」と熱い意気込みを語りました。

◀**出場選手名簿(写真④から)**
金田中 古井 颯人くん(左サイドバック)
方城 中野 斗暉くん(ボランチ)
金田中 讃岐 陸士くん(ボランチ)
金田中 島 蓮くん(キーパー)

県スポーツ功労者表彰
蜂屋哲夫さんが受賞

軟式野球の普及振興に寄与した蜂屋哲夫さん(金田)が名誉ある「福岡県スポーツ功労者表彰」を受賞しました。受賞式は、12月23日に福岡県庁で行われ、大曲昭恵副知事から直接賞状を授与されました。



↑全日本軟式野球福岡連盟で常任理事兼筑豊ブロック長を務めた経歴をもつ蜂屋さんが受賞。



↑今後の目標は、「東京五輪の舞台で競技すること」と夢を語る井上さん。

クラブ創立から2年で予選突破し県大会出場

城ヤンキースは「5年生以下新人戦野球大会」の地区予選を勝ち抜き、11月21日に筑穂球場で行われた県大会へ初出場を果たしました。県大会では、「豊前ウィングス」(豊前市)と対戦し、延長8回までもつれ込む熱い接戦を繰り広げましたが、最終的に自らのエラーが重なり、惜しくも惜敗。チームを率いる池永監督は、「いい試合をしたが、集中力の差で負けた。反省して今後に生かしたい」と振り返り、次の試合を見据えました。

白球追う仲間を大募集!

練習日▶回/9時〜15時
回/回・回/17時〜20時
練習場所▶伊方小学校グラウンド
月謝▶三千元/代表者▶池永竜二
09059303189
PR▶児童の健全な育成に励んでいます!

創部から2年目で県大会出場の快挙に類を繰り越した部員たち。

拳に渾しんの力託して勝ち取った念願の勝利

北九州市で11月22日に「第12回全国空手道選手権大会」が開催され、拳成館の道場生2人が優秀な成績を収めました。壮年男子の部に出場した岩丸忠満さん(香春町)が優勝。小6ジャンプアスリートカップ選抜クラスに出場した原田龍汰くん(久六)が3位を獲得。稽古の成果を発揮した結果に2人は拳を強く握り直しました。

道場生を募集しています!

練習日▶回・回/18時〜19時30分
練習場所▶拳成館本部道場
連絡先▶山口忠信 0225905月謝▶五千元
PR▶空手を通して、礼儀や人の痛みを知ることができ、心の成長にも役に立ちます。

↑栄冠得た岩丸さん(回)と原田くん(回)。



KEEP GOING! [特集]
新たな夢を追う福智のミライ★チャンピオン **2021**

KARATE 空友会【空手】

練習日▶回・回/19:30〜21:00
練習場所▶赤池中武道場(現在は町武道館)
代表者▶長野 秀裕 ☎090-3079-4402
会費▶3,000円/月
PR▶自信と強さとやさしさを育む空手道。体力、精神力、人間力が向上します。



KARATE 拳修館【空手】

練習日▶回・回/17:30〜19:30
練習場所▶金田稲荷神社
代表者▶木戸 勝正 ☎090-8763-7977
月謝▶無料
PR▶空手は湯の如し、空手に先手なしをモットーに日々稽古に励んでいます。



FOOTBALL F.C エレファント【サッカー】

練習日▶回・回/18:00〜20:00
練習場所▶方城グラウンド
代表者▶鈴木啓三 ☎090-3666-3585
会費▶7,000円/半年
PR▶楽しくサッカーするがモットーです!まずは体験会に参加してみてください。



FOOTBALL 金田少年サッカークラブ【サッカー】

練習日▶回・回/17:00〜19:30
回/10:00〜15:00
練習場所▶回・回/旧金田小グラウンド
回/金田多目的グラウンド
代表者▶萬田 信之 ☎090-8356-0987
月謝▶2,500円/上級生、2,000円/下級生



FUTSAL 絆ファミリーフットサルスクール【フットサル】

練習日▶回・回/18:00〜21:00
練習場所▶回/福智町屋内競技場
回/金田多目的グラウンド
代表者▶安枝 龍 ☎090-9598-5434
月謝▶3,000円
PR▶子どもの成長支援事業もやっています!



TENNIS フレッシュ キッズ&ジュニア【テニス】

練習日▶回/13:00〜17:00
練習場所▶奇数週は赤池テニスコート
偶数週は福智町屋内競技場(金田ドーム)
代表者▶木村 毅 ☎090-2711-1890
月謝▶2,000円
PR▶わいわいテニスを楽しむ会です。



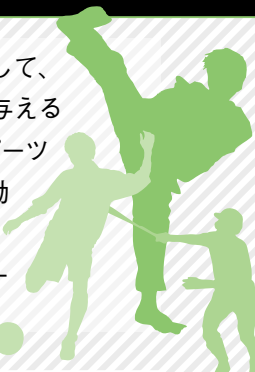
BASKETBALL 方城ミニバスケットボールクラブ【バスケット】

練習日▶回・回/17:30〜21:30
練習場所▶方城体育館
代表者▶石谷 敏行 ☎090-2395-0819
月謝▶千円(保護者会三千元/半年)
PR▶「日々の努力が実を結ぶ」をモットーに、切磋琢磨しながら練習に励んでいます。



Introduction of Sports Organizations for Children 少年スポーツ団体紹介

多くの人に希望と感動を与え、時として、その人の将来や人生にも好影響を与えるスポーツ。福智町内では、多数の少年スポーツチームが新型コロナ対策を徹底しつつ活動を続けています。新しい年を迎えた今、気持ちを新たに未来の可能性を広げるスポーツに挑戦してみたいかをご紹介します。



BASEBALL 赤池ボーイズ【硬式野球】

練習日▶回・回/17:00〜20:00
回・回/9:00〜17:00、回/自主練
練習場所▶福智町赤池球場
代表者▶木村 広 ☎090-4480-1874
月謝▶6,000円
PR▶全力疾走がモットーです!



BASEBALL 赤池ジュニアベアーズ【軟式野球】

練習日▶回・回/17:00〜20:00
回・回/9:00〜17:00
練習場所▶赤池グラウンド(線路側)
代表者▶黒土貴弘 ☎080-6456-5915
月謝▶3,000円
PR▶野球は楽しく元氣よくがモットー!!



BASEBALL 上野イーグルス【軟式野球】

練習日▶回・回・回/17:30〜20:00
回・回/8:30〜12:00
練習場所▶上野小グラウンド
代表者▶原田種之 ☎090-7392-3449
月謝▶3,000円
PR▶上野小に通う部員を募集しています。



BASEBALL 金田ジュニアクラブ【軟式野球】

練習日▶回・回・回/17:30〜19:30
練習場所▶旧金田小グラウンド
代表者▶高田 英志 ☎090-3325-9816
月謝▶5,000円/上級生、3,000円/下級生
PR▶モットーは「感謝と礼儀なくして、技術の向上なし!」。楽しい野球をしませんか。



KENDO 金田剣友会【剣道】

練習日▶回・回・回/18:15〜21:15
練習場所▶福智町武道館
代表者▶米家英雄 ☎090-1364-7666
月謝▶3,000円
PR▶鬼滅の刃の柱を目指す子どもたちを募集しています。

